

令和6年度 外部評価シート

施設名	神戸常盤アリーナ(県立文化体育館)	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵庫県立文化体育館ファンシティ共同体	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和3年～6年)

評価項目	評価
維持管理業務	・施設の老朽化が進んでいるが、設備管理、清掃管理業務などを主とする構成企業を中心に適切な維持管理が行われており、利用者が安全、快適に施設を利用することができている。
運営業務	・R5 年度は、スポーツ講座に約3万人、文化講座に約1万人参加するなど、非常に多くの講座を実施している点は非常に評価できる。 ・ネット予約や SNS での予約状況の確認など、施設運営全般のオンライン化を進める必要がある。 ・新規利用者獲得につながるような SNS での広報を行う必要がある。 ・小ホールや会議室 A など稼働率が低調な施設の利用度を改善するために、利用方法や利用者の声などを SNS に掲載することを検討する。 ・講座ごとのアンケートの実施・分析を行い、県民ニーズを把握することで、講座をアップデートする必要がある。 ・利用者だけでなく、近隣住民や学校へのアンケートを実施するなど、県民ニーズをより把握することができる方法を再考する必要がある。 ・全県的なスポーツイベントや研修など、市立施設ではなく、「県立施設」としての事業展開を計画する必要がある。
利用状況	・スポーツ館の稼働率は 80%を超えており、利用者ニーズが非常に高い施設である。 ・神戸市長田区唯一の公共プールであり、非常に多くの地元住民に利用されている貴重な施設である。 ・コロナ禍前の利用水準には回復していないため、自主事業の見直しや新たな利用団体等への営業などを行うことで、新規利用者獲得を目指す必要がある。
収支状況	・貸館収入について、指定管理者の運営努力によりコロナ禍前の水準から増収している点は評価できる。
運営体制	・スポーツ事業だけではなく、文化事業のノウハウを有する団体との連携強化を進める必要がある。 ・今年度から移管されたスポーツ振興課と綿密なコミュニケーションを図る必要がある。
その他	・当該施設は、アクセスのよい立地に所在しており、Bリーグや SVリーグの試合も予定されるなど、大規模イベントも数多く開催されている貴重な施設である。

2 残りの指定期間における改善点

- 施設運営業務のオンライン化の推進
- 全県的なスポーツイベントなど、市立施設ではなく、「県立施設」としての事業展開の計画
- 県民ニーズをより把握することができるアンケートなどの検討
- 新規利用者獲得につながるような SNS での広報の実施

3 次期公募に向けた検討課題等

- スポーツ事業だけではなく、文化事業など幅広い事業ノウハウを有する企業や団体の公募参加を促すような参加要件の検討
- オンラインシステムの導入又は事業ノウハウを有する企業や団体の公募参加を促すような参加要件の検討
- 全県的なイベント実施など、県立施設としての目的や機能が十分に達成される事業提案の募集

(参考) 兵庫県立体育施設指定管理者外部評価委員

氏名	主な役職	備考
柳沢 和雄	武庫川女子大学 健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科 教授	委員長
東 一洋	株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネージャー	委員
宇田 名保美	A D U株式会社 代表取締役／中小企業診断士	委員
遠藤 小百合	兵庫県カーヌー協会 理事長	委員
小倉 陽子	兵庫県県民生活部 次長	委員